

学長定例記者会見要項

日 時： 令和元年10月3日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

発表事項

1. 超薄型のやわらかく曲がる次世代電池を開発
～ 世界初、1mm以下の薄さを実現 ～
2. 高い吸着性能と光触媒能を兼ね備えた二酸化チタンを開発
～ 水質浄化や消臭など環境保全分野での応用に期待 ～
3. 建築・デザイン学科が住宅設計デザインコンテストを初開催
～ 地元工務店と連携し、山形の気候に適した設計を学ぶ ～
4. 国際学会で大学院生が最優秀ポスター賞を受賞
～ インド-ユーラシアの衝突時期をより詳細に突き止める ～
5. 学生の活動紹介：山形大学混声合唱団 合唱コンクール東北大会で銅賞

お知らせ

1. 合同シンポジウム「豊かな健康長寿社会を目指して」を開催
～文部科学省 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業～
2. 学生がキラリと光る地域企業の魅力を取材・発信
～山形県村山地域の企業の魅力を伝えるFacebook発信プロジェクト第3弾～
3. 「サイエンスリンクin山形2019」を開催

（参 考）

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和元年10月17日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

学長定例記者会見（10月3日）発表者

1. 超薄型のやわらかく曲がる次世代電池を開発

～ 世界初、1mm以下の薄さを実現 ～

学術研究院 産学連携准教授（有機エレクトロニクスイノベーションセンター担当） もりした まさのり 森下 正典

2. 高い吸着性能と光触媒能を兼ね備えた二酸化チタンを開発

～ 水質浄化や消臭など環境保全分野での応用に期待 ～

学術研究院 准教授（無機化学） かわい たかひろ 川井 貴裕

3. 建築・デザイン学科が住宅設計デザインコンテストを初開催

～ 地元工務店と連携し、山形の気候に適した設計を学ぶ ～

学術研究院 教授（工学部建築・デザイン学科担当） ながい やすお 永井 康雄
株式会社まくちぎけん菊池技建 代表取締役 まくち ゆきお 菊池 幸生
しょうわ 章和ホーム株式会社 代表取締役 かわい ひでとし 川井 秀智

4. 国際学会で大学院生が最優秀ポスター賞を受賞

～ インド-ユーラシアの衝突時期をより詳細に突き止める ～

大学院理工学研究科 博士前期課程2年 ほしな かずき 保科 一輝
学術研究院 教授（微古生物学） リチャード W. ジョルダン

5. 学生の活動紹介：山形大学混声合唱団 合唱コンクール東北大会で銅賞

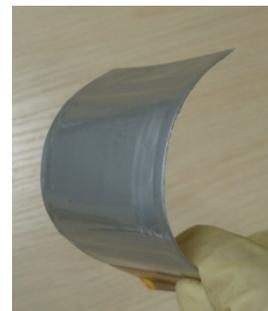
山形大学混声合唱団代表 理学部2年 しょうじ えりか 庄司 絵利加
〃 副学生指揮者 理学部1年 よこはま なるみ 横濱 育美

2019年10月3日

超薄型のやわらかく曲がる次世代電池を開発 ～世界初、1mm以下の薄さを実現～

【本件のポイント】

- 山形大学森下正典産学連携准教授は、1mm以下の超薄型で、やわらかく曲がる次世代リチウムイオン電池を世界で初めて開発。
- リチウムイオン電池の課題であった発火や液漏れの危険性を、電解質をゲル化(固体化)することでクリアし、安全性を高めただけでなく、やわらかく曲がることも特徴。
- 2年以内にウェアラブルデバイス用電池として製品化を目指す。

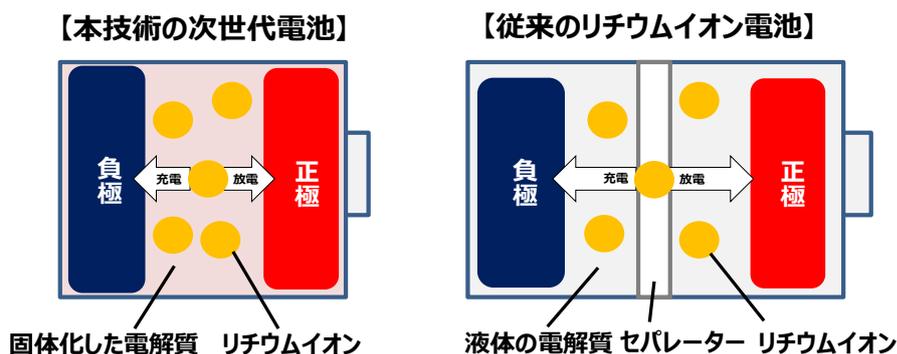


【概要】

リチウムイオン電池はスマートフォンなどの電源として用いられているが、発火事故が相次ぎ、安全性の向上が求められている。森下正典産学連携准教授は、リチウムイオン電池で使用されている液体の電解質を使用せず、電解質をゲル化(固体化)した電解質を使用して薄くてやわらかく、且つ安全な次世代リチウムイオン電池を開発した。1mm以下の超薄型で、やわらかく曲がる次世代リチウムイオン電池の開発は世界で初めて。

【背景】

リチウムイオン電池はスマートフォンなどの電源として用いられているが、発火事故が相次ぎ、安全性の向上が求められている。従来のリチウムイオン電池は主に正極、負極、セパレーター、液体の電解質で構成されている。このリチウムイオン電池は液体の電解質を使用しているため発火や液漏れなど安全性に課題があった。この課題を解決するために液体の電解質を固体化する研究が進められている。固体化による大きなメリットは、安全性の向上、電池を薄くやわらかくできるなどがあげられる。図1には本技術と従来のリチウムイオン電池との特徴を示す。



	本技術の次世代電池	従来のリチウムイオン電池
電解質	ゲル化(固体化)	液体
セパレーター	使用しても、しなくても可能	あり
安全性	液漏れ、発火しない	液漏れ、発火の可能性あり
電池の厚み	1mm以下	1mm以上
電池の特徴	やわらかく、曲がる	曲がらない

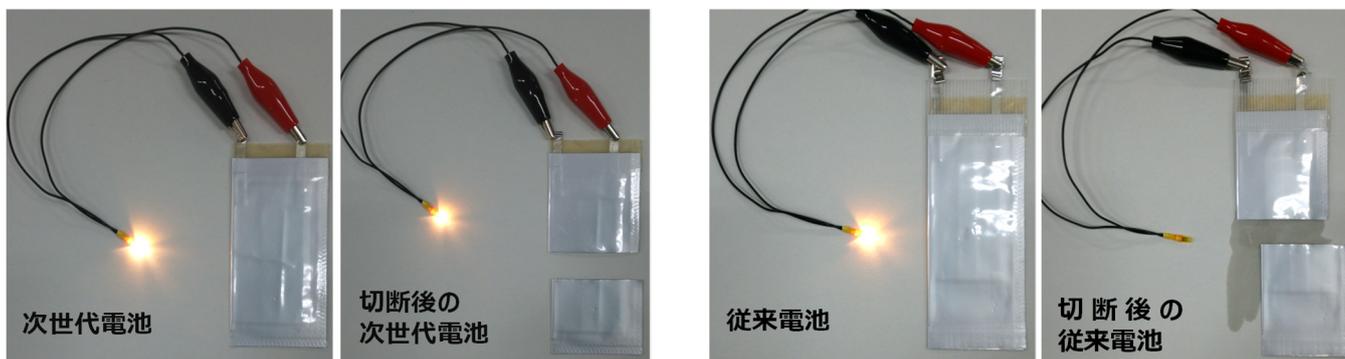
図1 本技術の次世代電池と従来のリチウムイオン電池の特徴

【研究開発成果】

山形大学森下正典産学連携准教授はリチウム塩とゲル化剤とを混合して、図2のようにやわらかく曲がるゲル状(固体化)の電解質を開発した(電解質はセパレーターに練り込んで使用することもできる)。やわらかく曲がることを実現するためにゲル化剤には寒天のようにやわらかく固まるものを使用した。固体化した電解質は0.1mm以下に加工し、負極を薄くすることで1mm以下の超薄型で、やわらかく曲がる次世代リチウムイオン電池を開発した。また従来の電池は金属製はさみで切断すると液が漏れ、ショートするため電球は消灯するが、本技術の電池は金属製はさみで切断しても安全で(発火や液漏れはなし)、電球は点灯し続けた(図3)。



図2 ゲル状(固体化)の電解質



切断した本技術の次世代電池

切断した従来のリチウムイオン電池

図3 切断した本技術の次世代電池と従来のリチウムイオン電池

【今後の展望】

本技術はポータブル機器やヘルスケア用機器などの分野に応用が期待でき、2年以内にスマートウォッチなどウェアラブルデバイスに搭載し製品化することを目指している。

【森下正典 産学連携准教授 博士(工学) 略歴紹介】

産業技術総合研究所(電池システム研究グループ)、GSユアサ(研究開発センター)、村田製作所(LIB事業推進部)にて、約10年間リチウムイオン電池やニッケル水素電池の研究開発、また放射光(Spring-8)を用いた電池の精密構造解析などに従事、研究論文(査読付き)22編、2015年4月より山形大学産学連携准教授として、産業界と連携して次世代リチウムイオン電池の研究開発を展開。

お問い合わせ

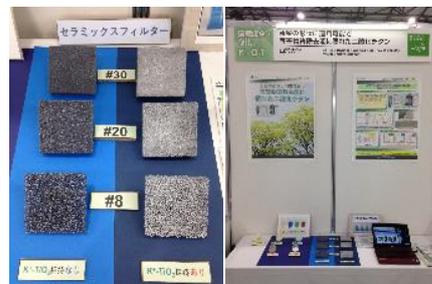
山形大学 学術研究院 産学連携准教授 (有機エレクトロニクスイノベーションセンター担当) 森下 正典
Tel 0238-26-3372、e-mail morishita@yz.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）10月3日

高い吸着性能と光触媒能を兼ね備えた二酸化チタンを開発 ～水質浄化や消臭など環境保全分野での応用に期待～

【本件のポイント】

- 安価な無機電解質を原料溶液に添加するだけで、最終的に得られる二酸化チタンの吸着性能と光触媒能を顕著に向上させることに成功。
- 開発した二酸化チタンは市販の高性能光触媒と比べ、分解性能の指標となる活性酸素種の発生量が最大で約2倍となることが確認された。
- 複数のSDGsに関与する環境保全分野での利活用が期待され、水質浄化材や消臭材としての応用展開が加速すると期待される。



【概要】

山形大学 学術研究院 川井貴裕准教授（無機化学）らの研究グループは、光を照射すると周囲の有機物を分解できる「光触媒」の代表物質である二酸化チタンの製造プロセスにおいて、チタンの原料溶液に安価な無機電解質を添加するだけで、得られる二酸化チタンに高い光触媒活性のみならず高い吸着性能をも付与できることを見出しました。この製造プロセスでは、粉末またはコーティング状の二酸化チタンが製造できるため、たとえば多孔質基材に被覆すれば空気清浄機用のフィルター等として利用することが可能となります。実際に均一な二酸化チタンコートフィルターが試作できており、液体中および気体中の有機物質に対する高い吸着能、光照射による有機物分解能、さらには繰り返しの使用耐性を示すことが確認されています。

本成果は、試作サンプルの展示という形で2019年8月29日～30日に東京ビッグサイトで開催されたイノベーション・ジャパン2019において、全国の企業および研究機関に向けて広く発信されました。

【背景】

光触媒の代表物質である二酸化チタンは、一度に大量の物質を分解できないという短所をもつため、高効率化には触媒活性と吸着性能の双方の向上が求められてきました。現在では主に触媒活性は貴金属等の導入により、また吸着性能は粒子の微細化によりそれぞれ向上が図られています。

【研究手法・研究成果】

二酸化チタンの製法のひとつであるアルコキッド法を用いて、チタンを含む原料溶液に安価な金属イオンを含む水溶液を混合し、これを加熱して得られた二酸化チタン粉末の色素水溶液に対する退色挙動を調べました。その結果、カリウムイオンが導入された二酸化チタンの光照射によるヒドロキシラジカル（活性酸素のひとつ）発生量や、色素分子に対する吸着能、光照射による分解能が、同じ製法でカリウムイオンを含まないものや市販の高性能光触媒に比べて顕著に高くなることが確かめられました。さらに、空気中の有害ガス分子に対しても高い分解能を示しました。この二酸化チタンは、スプレーコート法等により優れた吸着性と光触媒活性を維持しながらセラミックフィルター表面へ均一に被覆することも可能となりました。

【今後の展望】

特に医療・介護施設の脱臭、殺菌装置への適用、塗料・印刷工場で使用される有機物質の無害化、半導体工場のウェハー洗浄水の浄化など、幅広い分野で世界的に波及することが期待されます。

※用語解説

光触媒：太陽光などの光によって触媒作用を示す材料の総称。周囲の有機物（汚れや臭い）を除去したり抗菌作用を示すことから、環境浄化材料のひとつとして広く研究が進められている。

お問い合わせ

学術研究院 准教授 川井貴裕（無機化学/大学院理工学研究科担当）

TEL 0238-26-3107 メール t-kawai@yz.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）10月3日

建築・デザイン学科が住宅設計デザインコンテストを初開催 ～ 地元工務店と連携し、山形の気候に適した設計を学ぶ ～

【本件のポイント】

- 工学部建築・デザイン学科は、地元工務店（株式会社菊池技建・章和ホーム（株））と連携し、学生による住宅設計のデザインコンテストを初開催する
- 最優秀作品が顧客の承認を得られた場合は、建築着工し、学生が自らの設計や現場に関わり実践現場を経験する
- 地元の工務店の業務内容を知ってもらい、将来の設計士として学生の地元定着を目指す



【概要】

山形大学工学部建築・デザイン学科では、株式会社菊池技建（本社：山形市、代表取締役：菊池 幸生）、章和ホーム株式会社（本社：南陽市、代表取締役：川井 秀 智）と連携し、建築業界を目指す同学科の学生を対象に、住宅設計のデザインコンテストを開催します。最優秀作品（1点）は、実際に顧客に提案し認められれば、個人住宅またはモデルハウスとして、地元工務店と連携しながら、建築着工し、学生自らが現場を経験することも予定しています。

今回のコンテストでは、学生たちに一定の制約下で山形の気候に適した住みやすい戸建住宅の設計に挑戦してもらいます。現場をよく知る地元工務店より指導を受けながら、予算や建築条件などの制約の中で、コストと建物の魅力をどのようにして両立させるか、実践力を身につけることが狙いです。また、このコンテストをきっかけに、住宅設計の魅力を感じてもらい、同時に、地元工務店の業務内容を知ってもらうことで、学生の地元定着を目指します。

【背景・趣旨】

工学部建築・デザイン学科では、世界を見据えた幅広い視野を持ちつつ地域固有の文化を理解し、積極的に地域と関わり、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材を育成しています。今回、地元工務店の協力を得て、山形の気候に適した住宅設計を学び実践力を養うことを目的として、住宅設計のデザインコンテストを初めて開催することとしました。

地元工務店では、少子高齢化や若者の県外流出により深刻な人手不足に陥っています。今回の学生住宅設計デザインコンテストをきっかけに、学生に住宅設計の魅力を感じてもらい、地元の工務店の業務内容を知ってもらうことで、学生の地元定着を目指します。

【住宅設計コンテスト～山形に住む～】

対象建築物： 戸建住宅

コンセプト： 一定の制約下で山形の気候に適した住みやすい戸建住宅の設計

対 象： 山形大学工学部建築・デザイン学科の学生

賞・賞 金： 最優秀賞（1点）賞金 5万円

優秀賞（2点）賞金 3万円

入選（数点）

*その他、賞杯、賞状を授与

スケジュール：2019年10月3日 キックオフミーティング

2019年10月～11月 募集期間

2019年11月28日 結果発表

主 催： 山形大学工学部建築・デザイン学科、株式会社菊池技建、章和ホーム株式会社

お問い合わせ

学術研究院教授 永井康雄（建築・デザイン学科担当）

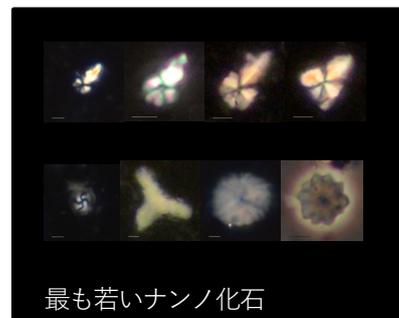
TEL 023-628-4238 メール y-nagai@e.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）10月3日

国際学会で大学院生が最優秀ポスター賞受賞 ～インド-ユーラシアの衝突時期をより詳細に突き止める～

【本件のポイント】

- 大学院理工学研究科2年の保科一輝さんは、新しい観点から研究を進め、チベット周辺の堆積環境を復元し、国際ナノプランクトン学会（2019年9月15日～19日、ブラジル）で最優秀ポスター賞を受賞した。
- チベットの岩石中で産出した石灰質ナノ化石に基づき、インド-アジアの衝突時期を5417万～5370万年前と詳細に制約することに成功した。
- インド-アジアの衝突時期をより正確に制約したことで、ヒマラヤ山脈が全球に与える影響についての研究がより加速していくと考えられる。



【概要】

インド亜大陸とユーラシア大陸の衝突により形成されたヒマラヤ山脈は日本を含むアジアに偏西風をもたらす。日本では四季が顕著に見られ、一年を通して季節の変化を楽しむことができる。これまでは実際にいつ両大陸が衝突したのかがよくわかっておらず、2500万～7500万年前と幅広く見積もられていた。大陸衝突以前には、両大陸間にテチス海が存在していた。つまり、最も若い年代を示す海洋生物をヒマラヤ山脈で発見することが年代を制約する鍵となる。そこで大学院理工学研究科の保科一輝さんの研究グループは、最も進化のペースが速いであろう、海洋プランクトン“石灰質ナノプランクトン”に着目し、両大陸の衝突時期を5417万～5370万年前と詳細に制約することに成功した。また、古い年代を示す化石の再堆積した頻度の違いから、チベット周辺の堆積環境の復元をすることができた。本研究で観察された石灰質ナノ化石は135種で、学会を通して、全種正確に同定されていることが証明され、ブラジルのサントスで開催された国際ナノプランクトン学会最優秀ポスター賞を受賞することができた。現在、共同研究者6人で論文を提出する段階まで来ている。本研究で両大陸の衝突年代をより正確に制約できたため、今後、ヒマラヤ山脈の形成による地球全体の変化についての研究がより加速していくであろうと考えられる。

【背景】

インド亜大陸とユーラシア大陸は、世界一の標高を誇るヒマラヤ山脈を形成した。しかしながら、両大陸の衝突時期は、幅広く見積もられておりよくわかっていなかった。これまで、石灰質ナノ化石を用いて年代決定した論文がいくつかあったものの、すべてにおいて同定が間違っており、正確なデータとは言えなかった。

【研究手法・研究成果】

チベット南部に位置する Qumiba（チュミバー）地域には、最後に堆積した海成層が堆積している。共同研究者 Shijun Jiang が岩石採取を行い、試料からプレパラートを作成し、光学顕微鏡下で石灰質ナノ化石の計数を行った。再堆積した化石が多かったものの、最後に出現したナノ化石は8種観察された。これにより、インド亜大陸とユーラシア大陸の衝突時期を5417万～5370万年前とより制約することに成功した。また、種の多様性の変動から、チベット周辺の堆積環境の復元を行った。

【今後の展望】

本研究で制約した年代は極めてピンポイントである。両大陸衝突に伴い形成されたヒマラヤ山脈が地球に与える影響についての研究がより加速するであろうと考えられる。

※用語解説

1. 石灰質ナノ化石：海洋性石灰質ナノプランクトンの化石。大きさは、多くが10 μm以下と極めて小さい。進化のペースが極めて速いため、堆積物の年代決定に極めて有効である。
2. 海成層：海で堆積してできた地層のこと。

お問い合わせ

学術研究院教授 Richard W. Jordan(微生物学) / 大学院理工学研究科 博士前期課程2年 保科一輝
TEL 023-628-4645 メール sh081@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学混声合唱団 合唱コンクール東北大会で銅賞

【本件のポイント】

- 全日本合唱コンクール県大会で金賞、東北支部大会で銅賞獲得
- 山形大学と同じ70年の歴史を持つ合唱サークル
- 地域の人にもっと楽しんでもらいたいと考えており、大学祭や定期演奏会の他にも、地域での活動の幅を広げていきたい。



【概要】

山形大学混声合唱団は、大学設立と同じ1949（昭和24）年に文理学部音楽研究会として、小白川キャンパスで発足した合唱サークルです。現在は、大学公認サークルとして、各キャンパスで学ぶ学生36人が所属しています。入学式、県や市の合唱祭、大学祭（八峰祭）などで合唱を披露しているほか、毎年1回定期演奏会を行っています。

全日本合唱コンクールにも毎年出場しており、8月に行われた県大会では、金賞を受賞し、9月27日～29日に岩手県で開催された東北支部大会に出場しました。県大会の金賞は、これまでに何度も受賞してきましたが、全国でも屈指の激戦区である東北大会では、昨年の銀賞が最高。今回は銅賞で、全国大会出場という大きな夢には届きませんでしたが、団としては目標として掲げている「楽しんで歌う」ということを達成出来たので悔いはありません。

現在、地域のミニコンサートのお手伝いなどもしていますが、将来的にはもっと地域の方に楽しんでいただけるように活動の幅を広げていきたいと考えています。

【第71回全日本合唱コンクール】

- ・山形県大会（8月18日、山形テルサ）、東北支部大会（9月27～29日、岩手県民会館）
- ・合唱曲：課題曲 Ave Maria（アヴェ マリア）、自由曲 Three motets（スリー モテッツ）
- ・選曲のポイント：課題曲は4曲の中から合唱団にあうものを選びました。自由曲は毎年、団員から歌いたい曲を募集して、話し合いで決めています。今年はテノールの人数が少ないことや宗教曲（イエスの誕生やマリアを賛美する内容の3部構成）で、課題曲との繋がりがよい等の理由から選びました。

【日頃の活動】

練習は小白川キャンパスで行っています。米沢ではグリークラブとしても活動していて、毎週土曜日に合同練習を行います。キャンパスが離れているため、なかなか全員が集まって練習できないのが悩みです。

【今後の活動】

全日本合唱コンクールが終わると、定期演奏会に向けた準備が始まります。今年度は、2月22日に遊学館で開催することが決まりましたので、多くの方にお越しいただきたいと考えています。

また、10月26日～27日に小白川キャンパスで行われる八峰祭にも出演する予定です。その他、地域のミニコンサートのお手伝いなどもしていますが、将来的にはもっと地域の方に楽しんでいただけるように活動の幅を広げていきたいと考えています。

お問い合わせ
山形大学広報室
TEL 023-628-4008 メール koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和元年(2019年)10月3日

山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 合同シンポジウム「豊かな健康長寿社会を目指して」を開催

～文部科学省 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業～

山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学の3機関で実施している文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の一環として合同シンポジウムを開催します

日時：11月19日（火）13:30～17:00

会場：山形大学米沢キャンパス 工学部11号館 未来ホール、展示ホール

2. 学生がキラリと光る地域企業の魅力を取材・発信

～山形県村山地域の企業の魅力を伝えるFacebook発信プロジェクト第3弾～

人文社会科学部やまがた地域社会研究所は山形県村山総合支庁から委託を受け、平成29年度から学生の視点で山形県村山地域の企業の魅力をFacebookで発信する取り組みを行っています。

3年目の今年度は、製造業に加え、建設、情報通信、サービスなどの企業も取材対象とし本日から発信をスタートします。

3. 「サイエンスリンクin山形2019」を開催

子ども達の理科離れに歯止めをかけることを目的に開催しているイベント。山形大学SCITAセンター学生スタッフ、東北大学、NPO法人サイエンスリンク等がブースでの実験、サイエンスショーを実施します。

日時：10月12日(土) 10:00～17:00頃(16:30受付終了)

会場：山形大学小白川キャンパス 体育館

参加料：無料

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎農場フェスティバルを開催します

日時：10月5日(土)10:00～15:30

場所：山形大学農学部 附属高坂農場（鶴岡市高坂字古町5-3）

入場無料・ご飯無料

令和元年（2019年）10月3日

合同シンポジウム「豊かな健康長寿社会を目指して」を開催

～文部科学省 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業～

【本件のポイント】

- 山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学の3機関で実施している文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」（平成27年度採択）として実施
- 「豊かな健康長寿社会をめざして」をテーマに二宮くみ子氏（NPO法人うま味インフォメーションセンター 理事）の講演や女性研究者の共同研究成果を報告
- 山形大学が取り組むフロンティア有機システムイノベーション拠点（山形大学 COI）の若手研究者と3機関の女性研究者が連携して初めて開催するSDGsの観点からの研究交流も紹介



講師の二宮くみ子氏

【概要】

山形大学、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学は、3機関合同シンポジウム「豊かな健康長寿社会を目指して」を開催します。3機関は、平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」の採択を受け、女性研究者の活躍促進を図るために、連携して事業に取り組んでいます。

今回のシンポジウムは、「豊かな健康長寿社会をめざして」がテーマです。テレビ等でも活躍中で「うま味の伝道師」と呼ばれる二宮くみ子氏（NPO法人うま味インフォメーションセンター理事）の講演のほか、女性研究者の共同研究の紹介、健康で豊かな未来の生活創造を目指して展開中の山形大学 COI（フロンティア有機システムイノベーション拠点）と連携した研究などを紹介します。行政や企業の皆様だけでなく、一般市民の皆様のご参加もお待ちしております。

【3機関合同シンポジウム ～豊かな健康長寿社会をめざして～】

日時：令和元年11月19日（火）13:30～17:00

場所：山形大学米沢キャンパス 工学部11号館 未来ホール、展示ホール

内容：テーマ 「豊かな健康長寿社会をめざして」

- (1) 「～女性にとって『快適で豊かな未来の生活』をデザインする～産学連携サービスデザイン・プロジェクトの研究成果」

黒谷玲子（山形大学学術研究院 准教授）

- (2) 講演「豊かな健康長寿社会の『食』～うま味の伝道師からの提案」

二宮くみ子氏（NPO法人うま味インフォメーションセンター 理事）

- (3) 女性研究者共同研究報告

「加齢・神経変性が味覚に及ぼす影響：味覚障害を呈する認知症を捉える」

伊関千書（山形大学学術研究院 講師）

「適正な嚥下調整食提供のためのモバイル食品物性評価ツールの開発」

三原法子（山形大学学術研究院 講師）

- (4) 「COI若手連携」共催 ポスター発表（展示ホールに移動）

「SDGs x COI 若手・女性研究者交流会～SDGsの観点からの研究交流～」

申込：FAX、メールで11月8日（金）まで申込み（参加無料）

託児は11月1日（金）まで要予約。

お問い合わせ・お申し込み 山形大学 男女共同参画推進室

TEL：023-628-4937/4938/4939 Email: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



託児可（要申込）

参加無料

一般市民歓迎！



3機関合同シンポジウム

豊かな健康長寿社会をめざして

令和元年

11月19日（火）13：30～17：00

山形大学米沢キャンパス11号館2F 未来ホール

※山形大学林泉寺駐車場をご利用ください。

講演

14：10～



「豊かな健康長寿社会の『食』 ～うま味の伝道師からの提案」

二宮くみ子 氏

NPO法人うま味インフォメーションセンター 理事

1982年上智大学大学院理工学部研究科卒業
広島大学大学院生物生産学部博士課程修了（農学博士）
1982年味の素株式会社入社、1985年NPO法人うま味インフォメーションセンターに参画。
うま味研究の推進や普及活動を積極的に行っている。

テレビ朝日「林修の今でしょ！講座」2019年7月30日放送回
「学校の先生が教えたい日本の“食”を変えたスゴい発明品ベスト20」にご出演！！

13：35～

「～女性にとって『快適で豊かな未来の生活』をデザインする～産学連携サービスデザイン・プロジェクトの研究成果」

黒谷玲子（山形大学学術研究院 准教授）

15：20～

女性研究者共同研究報告

1. 「加齢・神経変性が味覚に及ぼす影響：味覚障害を呈する認知症を捉える」
伊関千書（山形大学学術研究院 講師）
2. 「適切な嚥下調整食を提供するための運用ツールの開発」
三原法子（山形大学学術研究院 講師）

16：00～

2019年度山形大学COI「若手連携」共催

「SDGs × COI若手・女性研究者交流会～SDGsの観点からの研究交流～」

若手および女性研究者によるポスター発表

色々な研究をご紹介しますので、一般の方もぜひご参加ください！

▼当日スケジュール、交通のご案内などの詳細はホームページにてご確認お願いいたします。▼

<http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/diversity/> または、「山形大学ダイバーシティ」で検索！

問合せ・申込先 **山形大学男女共同参画推進室**

TEL023-628-4937 FAX023-628-4014 y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

3 機関合同シンポジウム 豊かな健康長寿社会をめざして

【内 容】

- 13:30 開会の挨拶
13:35 「～女性にとって『快適で豊かな未来の生活』をデザインする～産学連携サービス デザイン・プロジェクトの研究成果」（30分、質疑応答5分）
黒谷玲子（山形大学学術研究院 准教授）
14:10 講演（60分、質疑応答10分）
「豊かな健康長寿社会の『食』～うま味の伝道師からの提案」
二宮くみ子氏（NPO法人うま味インフォメーションセンター 理事）
15:20 女性研究者共同研究報告（各10分、質疑応答10分）
1. 「加齢・神経変性が味覚に及ぼす影響：味覚障害を呈する認知症を捉える」
伊関千書（山形大学学術研究院 講師）
2. 「適切な嚥下調整食を提供するための運用ツールの開発」
三原法子（山形大学学術研究院 講師）
15:50 休憩（10分）
16:00 COI若手連携共催「SDGs × COI若手・女性研究者交流会～SDGsの観点からの研究交流～」（55分）
（若手研究者、女性研究者によるポスター発表）
16:55 閉会の挨拶

申込み期限

2019年11月8日(金)

切り離し不要。このままお送りください。

申込書

FAX：023-628-4014

連絡先等をご記入ください。※選択項目はレ点をご記入ください。

お名前			
所属先			
電話番号			
Eメール アドレス			
【託児希望】 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
託児を希望される場合は、11月6日（水）までにお知らせください。 別途、託児に必要な情報を確認させていただきます。			
＜託児利用者のみ＞お子様の情報			
(ふりがな) お名前		年齢	

※ご記入いただいた個人情報は、厳密に管理し、他には一切使用いたしません。

問合せ・申込みはコチラ

メール・WEBでも
受付！

山形大学男女共同参画推進室
TEL 023-628-4937 FAX 023-628-4014
Email y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



令和元年（2019年）10月3日

学生がキラリと光る地域企業の魅力を取材・発信 ～山形県村山地域の企業の魅力を伝えるFacebook発信プロジェクト第3弾～

【本件のポイント】

- 山形大学の学生が山形県村山地域のキラリと光る企業30社を取材し、Facebookを通じて情報発信します（10月3日発信スタート）
- Facebookをきっかけに地域の企業の魅力を知り、さらに情報を共有してもらうことで若者の地域定着につながることを期待しています
- 3年目となる今年度は製造業に加え、建設、情報通信、サービスなどの企業も取材対象とし、閲覧者層の拡大を目指します

（株）トプコン山形（山形市）への取材



【概要】

人文社会科学部やまがた地域社会研究所は山形県村山総合支庁から委託を受け、平成29年度から学生の視点から山形県村山地域の企業のもつ魅力をFacebookで発信する取り組みを行っています。

独自の優れた技術や製品・サービスをもつ企業や国内外でトップクラスの企業が山形にあることをもっと知ってもらいたい！という思いから、人文社会科学部・工学部・地域教育文化学部の学生約20名が分担して企業30社に訪問し、取材を行いました。経営者や若手従業員へのインタビューを行い、現場で見て、聞いて、感じたことを学生自身が記事にまとめ、山形のキラリと光る企業30社の魅力を伝えます。

取材記事は本日（10月3日）からFacebookに掲載を開始し、1月末にかけて順次掲載していきます。

【プロジェクトの背景】

山形県村山地域には全国に誇れる独自の優れた技術や製品・サービスを持つ企業が数多く立地していますが、大学生や高校生にはまだまだ知られておらず、地元就職に結びつきにくいという現状があります。そこで地域企業の魅力を知ってもらい、就職への関心を高め、さらには若者の地域定着につなげていきたいという思いから、若者にとって身近なSNSを活用した情報発信を行うことにしました。

【これまでの成果】

本プロジェクトは平成29年度からスタートし、3年間で約90人の学生が参加してのべ88社を取材しました。これまで合計292本の記事を作成してFacebookで配信し、昨年度3月末時点でのべ1万2千人以上の方に閲覧いただきました。取材企業向けのアンケートでは自社の認知度向上につながったというご意見をいただき、着実に成果に結びつきつつあります。

【令和元年度の取り組み】

今年度は製造業に加え、製造業以外の企業を希望する若者にも見てもらえるよう、建設業、情報通信業、卸売業、運輸業、サービス業を取材対象に追加しました（別紙チラシを参照）。また、山大OB・OGなどの若手社員へのインタビューを充実させ、就職活動において関心の高い企業風土や職場の雰囲気、学生らしい表現で伝えることに注力しています。

学生が五感で感じた企業の魅力をわかりやすく紹介した記事を作成し、本日（10月3日）から下記Facebookページに掲載を開始します。順次、新しい記事を掲載していく予定ですので、ぜひご覧ください。



Facebook ページ「キラリと光る！山形県村山地域の企業」
（“キラリと光る山形”で検索すると出てきます）

お問い合わせ

学術研究院 准教授（人文社会科学部担当） 吉原 元子

TEL 023-628-4256 メール motoko@human.kj.yamagata-u.ac.jp

山形のおもしろ企業ば★ 見でみっか!

製造・建設・情報通信・サービス・・・すごい企業を山形大生が発信中

山形で活躍したい人へ★山形で働くといいことがあります!



山形県村山地域の企業の魅力★をFacebookで発見しよう

きらりと光る！山形県村山地域の企業

<https://www.facebook.com/きらりと光る山形県村山地域の企業-178581976017006/>



きらりと光る山形

検索



Twitterアカウント@ShiningYamagata でも取材の様子を配信中

山形県村山総合支庁産業経済部地域産業経済課 TEL 023-621-8443
受託：山形大学人文社会科学部やまがた地域社会研究所



Facebook掲載の企業

令和元年度 山形県村山管内で学生が取材した企業



<山形市>

アリオンテック（株）
（株）エム・エス・アイ
（株）クリエイト礼文
（株）サニックス
（株）シェルター
（株）鈴木製作所
スズキハイテック（株）
田宮印刷（株）
第一貨物（株）
（株）長栄精密
テクノクオーツ（株）
（株）トプコン山形
（株）丸範
（株）ヤマコー
山形パナソニック（株）
（株）山形部品
（株）YCC情報システム

<寒河江市>

（有）奥山メリヤス

<天童市>

出羽桜酒造（株）

日新製薬（株）

<上山市>

ジャスト（株）

<村山市>

（株）コヤマ

ナブテスコオートモーティブ（株）山形工場

<東根市>

（株）エースジャパン

山形カシオ（株）

<尾花沢市>

オプテックス工業（株）

<中山町>

三和缶詰（株）

<河北町>

モガミフーズ（株）

<朝日町>

（株）ニクニアサヒ

<大江町>

（株）小堀製作所

（順不同）



平成29～30年度に取材した企業

<山形市>

（株）伊藤熱処理
サンフウ精密（株）
（旧社名：川西精密）
（株）柴田製作所
（株）シベール
（株）鈴木製作所
スズキハイテック（株）
（株）高橋型精
（株）でん六
テクノクオーツ（株）
（株）ハッピージャパン
ミクロン精密（株）
ミドリオートレザー（株）

<寒河江市>

後藤電子（株）
佐藤繊維（株）
（株）スガサワ
日東ベスト（株）
（株）マイスター
<天童市>
エムテックスマツムラ（株）
（株）管製作所
斎藤マシン工業（株）
出羽桜酒造（株）
（株）天童木工

<上山市>

（株）片桐製作所
ジャスト（株）
進和ラベル印刷（株）

<村山市>

（株）エツキ
（株）コヤマ

<東根市>

アイジー工業（株）
神町電子（株）
（株）ナガオカ
明立工業（株）
山形カシオ（株）
（株）山本製作所

<尾花沢市>

オプテックス工業（株）
（株）最上世紀

<山辺町>

オリエンタルカーペット（株）

米富繊維（株）

<河北町>

（株）I B U K I

<朝日町>

（株）朝日相扶製作所
（株）ニクニアサヒ

（順不同）

令和元年（2019年）10月 3日

「サイエンスリンクin山形2019」を開催

【本件のポイント】

- 子ども達の理科離れに歯止めをかけることを目的に山形では平成28年(2016年)度から開催しており今年で第4回目。
- 山形大学SCITAセンター学生スタッフ、東北大学、NPO法人サイエンスリンク等がブースでの実験、サイエンスショーを実施
- やまがた社会貢献基金協働助成事業の支援により開催



【概要】

山形大学 SCITA センターでは、「やまがた科学の花咲く」プロジェクトで養成された『科学の花咲かせ隊』のサイエンスコミュニケーターと山形大学 SCITA センター学生スタッフは、科学を通して地域との交流を積極的に行っています。

平成 28 年(2016 年)度から山形大学と他大学の科学啓蒙を行っている団体が小学生を対象とした科学体験教室を実施しており、今年も科学の楽しさ、不思議さを伝えます。例年それぞれのブースで実験やサイエンスショーを実施していますが、今年はやまがた科学花咲くプロジェクトの学生マイスターがスライムの実験を行います。

【講座内容】

開催日時 : 令和元年10月12日(土) 10時～17時頃(16時30分受付終了)

開催場所 : 山形大学小白川キャンパス 体育館

講座内容 : 参加者に各ブースや、サイエンスショーで科学体験をしてもらいます。

- ・SCITAセンター学生スタッフ : カラフルカプセル
- ・学生スライムマイスター : のび～るスライム
- ・NPO法人サイエンスリンク : クント管
- ・SCITA@米沢 : ガリガリプロペラ
- ・東北大学 : モアモアしおり
- ・東京大学 : 重ねてわかる！科学のふしぎで
- ・東京理科大学 : フィルムケースで空気の流れを！
- ・山形県立東桜学館高等学校 : 光るストラップ

他

【申込方法等】 直接会場にお越しください。

参加料 無料

※ 山形大学 SCITA センターは、理科学習の普及活動を促進するための本学独自の「やまがた未来科学プロジェクト」に基づき、科学的思考能力を備えた将来の山形あるいは日本を支える人材を育成する目的で設置されました。小学生から大人まで、全県民を対象に開催する体験型の科学実験教室プログラムイベントを提供して昨年は約8,000人以上の方に参加いただきました

お問い合わせ
山形大学SCITAセンター(棚井)
電話 023-628-4517

サイエンスリンク

in 山形 2019

参加費無料！

予約不要！

日時：10月12日(土)

10:00～17:00(16:30 受付終了)

場所：山形大学小白川キャンパス体育館

【出展団体】

- ・山形大学 SCITA センター学生スタッフ
- ・SCITACenter@米沢
- ・NPO 法人サイエンスリンク
- ・東北大学理学部・理学研究科広報サポーター
- ・学生スライムマイスター
- ・東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST
- ・東京理科大学 chibi lab.
- ・山形県立東桜学館高等学校自然科学部



【お問い合わせ先】

山形大学 SCITA センター

TEL : 023-628-4506

<http://www.yamagata-u.ac.jp/scita/>

楽しい
科学実験を
やってみよう！

☆小さなお子様は保護者同伴でご参加ください☆

主催：山形大学 SCITA センター学生スタッフ

後援：山形県 山形市教育委員会

協力：NPO 法人サイエンスリンク 東北大学大学院理学研究科



International Year of the Periodic Table of Chemical Elements
国際周期表年2019

やまがた社会貢献基金協働助成事業



やまがた社会貢献基金
Yamagata Social Contribution Fund